



2023年6月期 第3四半期決算説明資料

2023年5月12日

便利で安全なネットワーク社会を創造する

BroadBand Security, Inc.

株式会社ブロードバンドセキュリティ

<https://www.bbsec.co.jp/>

2023年6月期第3四半期業績ハイライト

トピックス

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

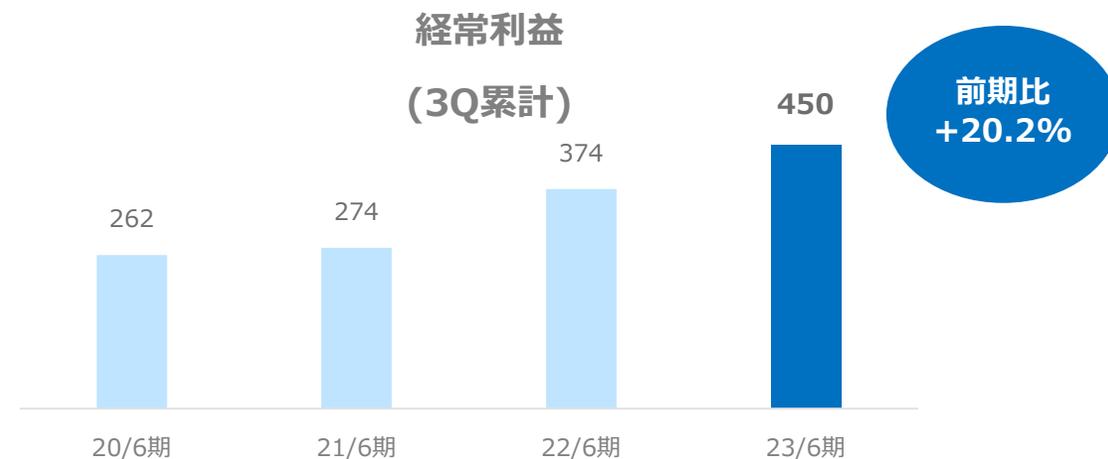
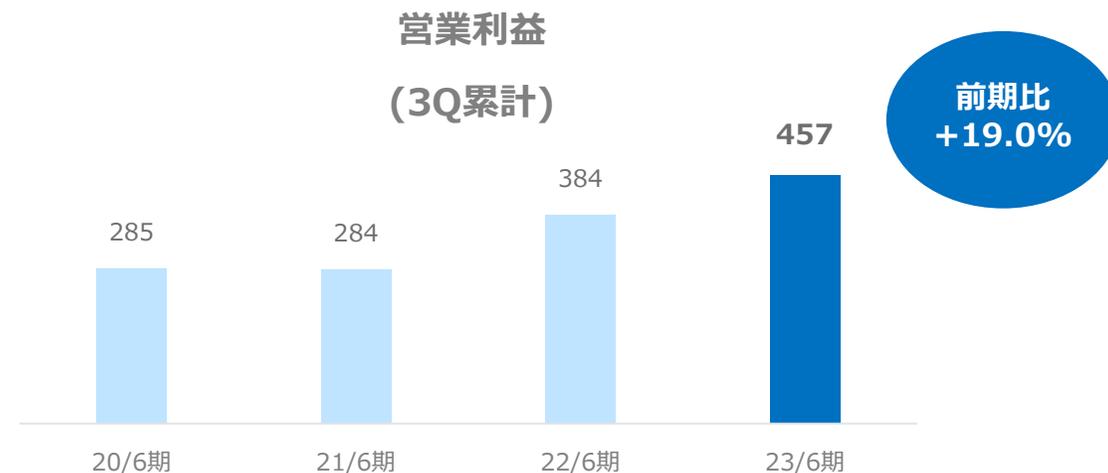
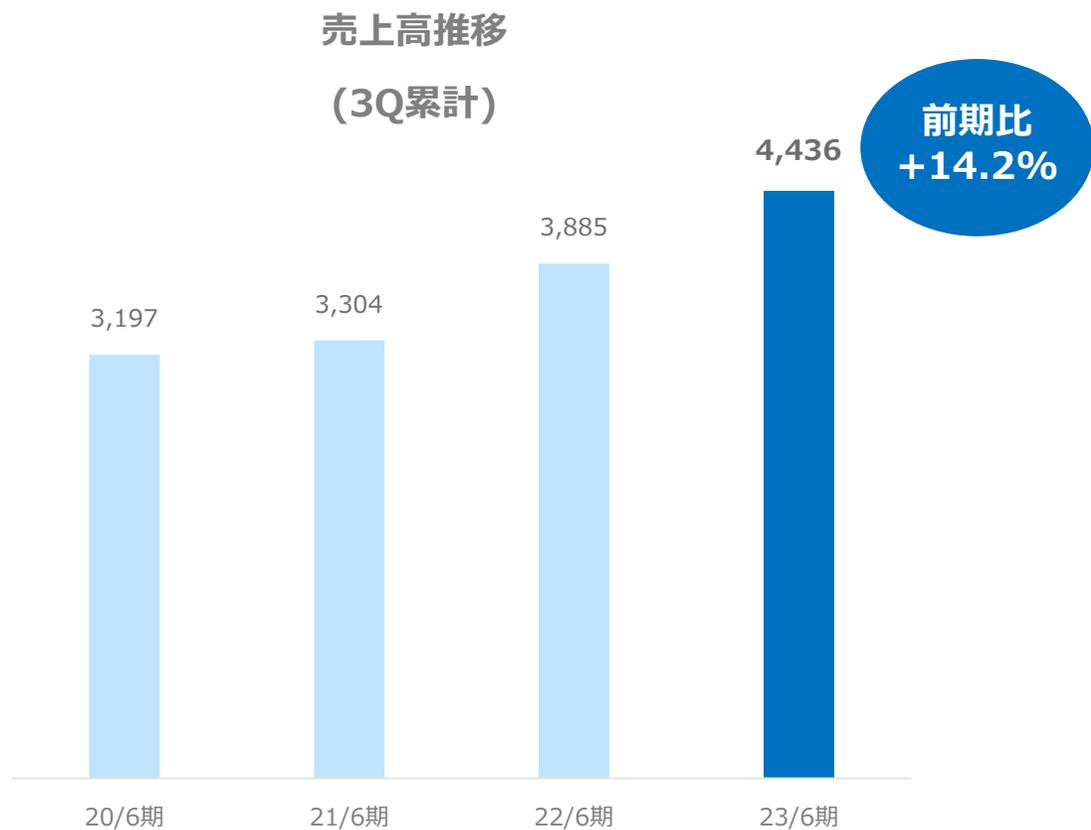
売上高の増加にともない、売上総利益も増加 販管費の増加を吸収し、営業利益・経常利益・当期純利益とも過去最高を更新

単位：百万円

科目	2022年6月期 3Q累計実績	2023年6月期 3Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	3,885	過去最高 4,436	+550	+14.2%
売上原価	2,702	3,040	+337	+12.5%
売上総利益	1,183	1,396	+213	+18.0%
販売費及び一般管理費	798	938	+139	+17.5%
営業利益	384	過去最高 457	+73	+19.0%
売上高営業利益率	9.9%	10.3%	+0.4p	
経常利益	374	過去最高 450	+75	+20.2%
売上高経常利益率	9.6%	10.2%	+0.6p	
当期純利益	245	過去最高 337	+91	+37.3%

前年同期比、増収・増益で着地 3Q累計として過去最高

単位：百万円



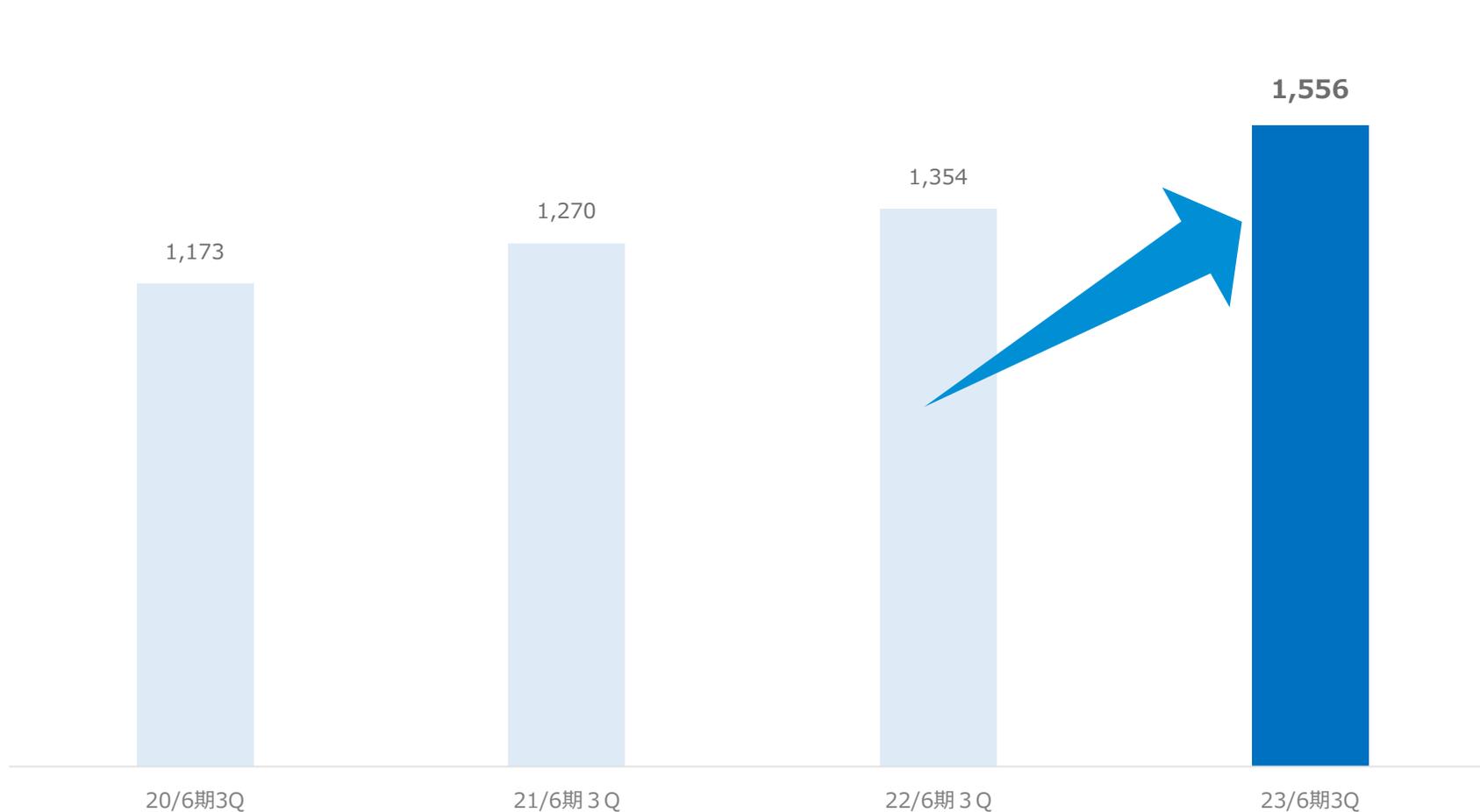
各サービス区分とも過去最高の売上高を更新 特に定常収益の比率の高い「情報漏えいIT対策」の増加が顕著に

単位：百万円

サービス区分	2022年6月期 3Q累計売上高	2023年6月期 3Q累計売上高	前年同期比		変動要因
			増減額	増減率	
セキュリティ監査・ コンサルティング	915	1,034	+119	+13.0%	ストック型コンサルサービス（アドバイザリ契約）の増大により増収。
脆弱性診断	1,167	1,356	+188	+16.1%	顧客数、案件数とも好調に推移 徹底した工数管理と態勢の拡充、人材育成により、生産能力が向上。
情報漏えいIT対策	1,802	2,046	+243	+13.5%	セキュリティ事故緊急対応の増加 24時間監視の継続サービスの積上 （定常収益の増大）

情報漏えいIT対策における定常収益が拡大 前年同四半期比で14.9%増、201百万円増

定常収益とは、1年以上の契約期間において毎月課金を行うサービス。
当社収益の安定的な基盤の位置づけ。



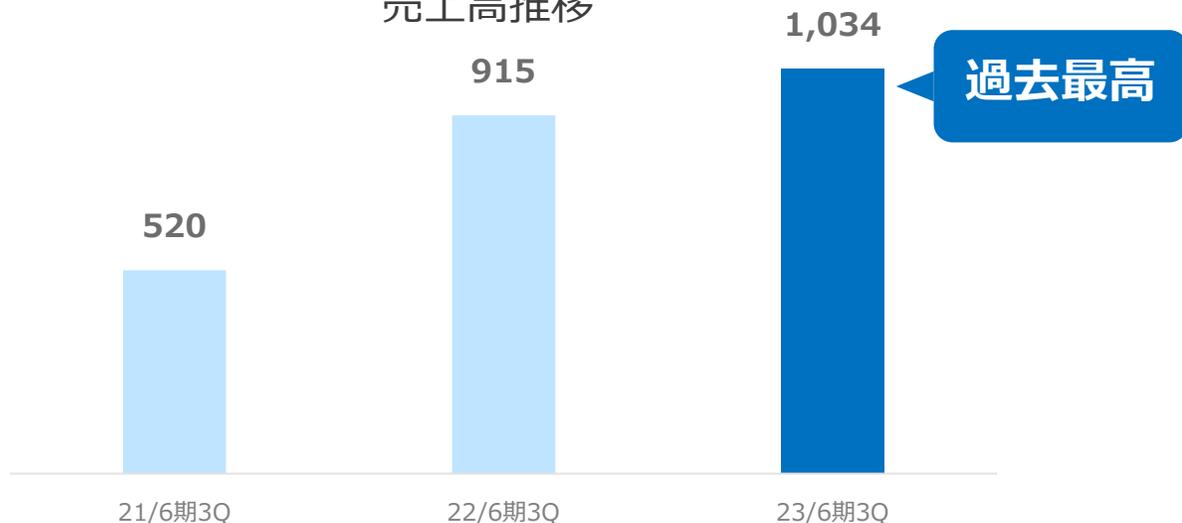
**前年比
+14.9%**

単位：百万円

クレジットカード業界向け監査・コンサルティングの増加と、自動車関連業態向けのサービス拡充に伴う新規案件増加により、売上が拡大

セキュリティ監査・コンサルティング
売上高推移

単位：百万円



ストック型コンサルティングの成長（3Qまでの累計）

前年同期比	売上高	1.3倍
	顧客数	1.6倍

・情報セキュリティコンサルティング

自動車関連産業における関連団体である一般社団法人自動車工業会（JAMA）発行のガイドラインに準拠するための取り組みを支援する、新たなコンサルティングサービスにより新規顧客を獲得。

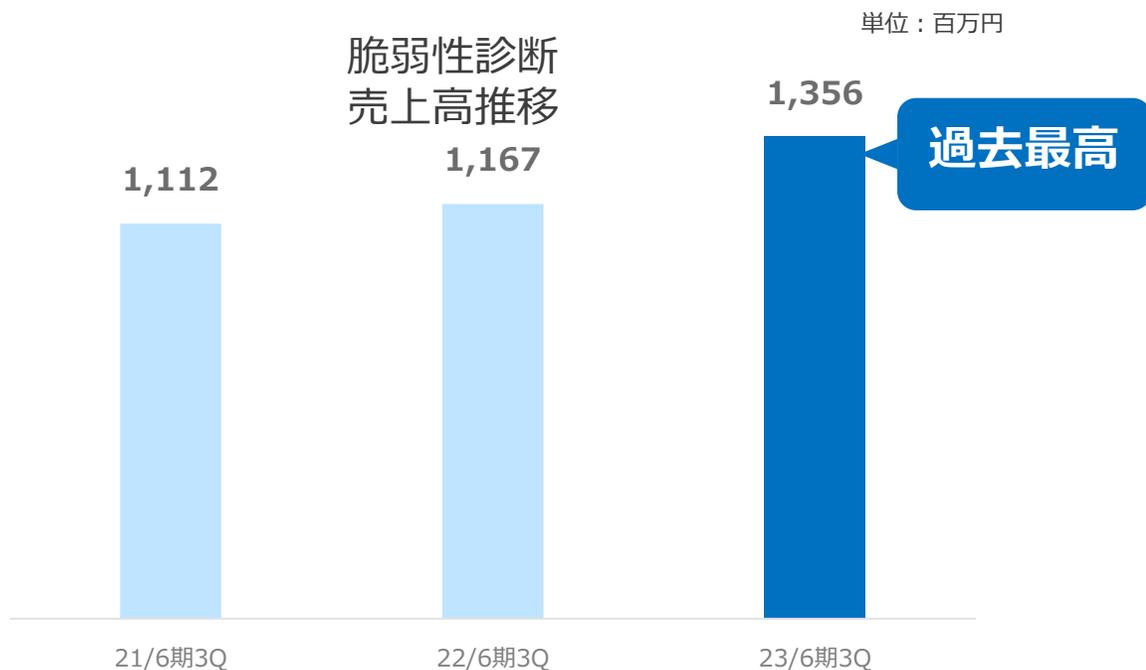
・クレジットカード業界

PCI DSS4.0対応のためのコンサルティングが順調。今後クレジットカードガイドラインの改定に伴って、カード情報非保持の企業もセキュリティ強化が不可欠となる背景からの需要増加も追い風となっている。

・ストック型コンサルティング顧客数の増加

引き続きストック型コンサルティングサービスも成長しており、前年同期と比較して売上高、顧客数ともに大きく増加。

エンジニア育成による生産性の強化が、最繁忙期での大型案件への対応に寄与 プロジェクトマネジメント要員の強化により、案件対応が一層効率的に



• Web・ネットワーク・ソースコード診断

最繁忙期をターゲットにエンジニアの育成を継続してきた結果として、過去最高の売上を更新。複数の大型案件への対応においては、現場のマネジメント層の尽力が大きく寄与。

• IoTセキュリティ診断

2Qに引き続き、IoTセキュリティ診断は大型案件を実施。今後の続伸を想定して、対応可能な技術者の育成を平行して実施。さらなる体制強化を図る。

• クラウド設定診断

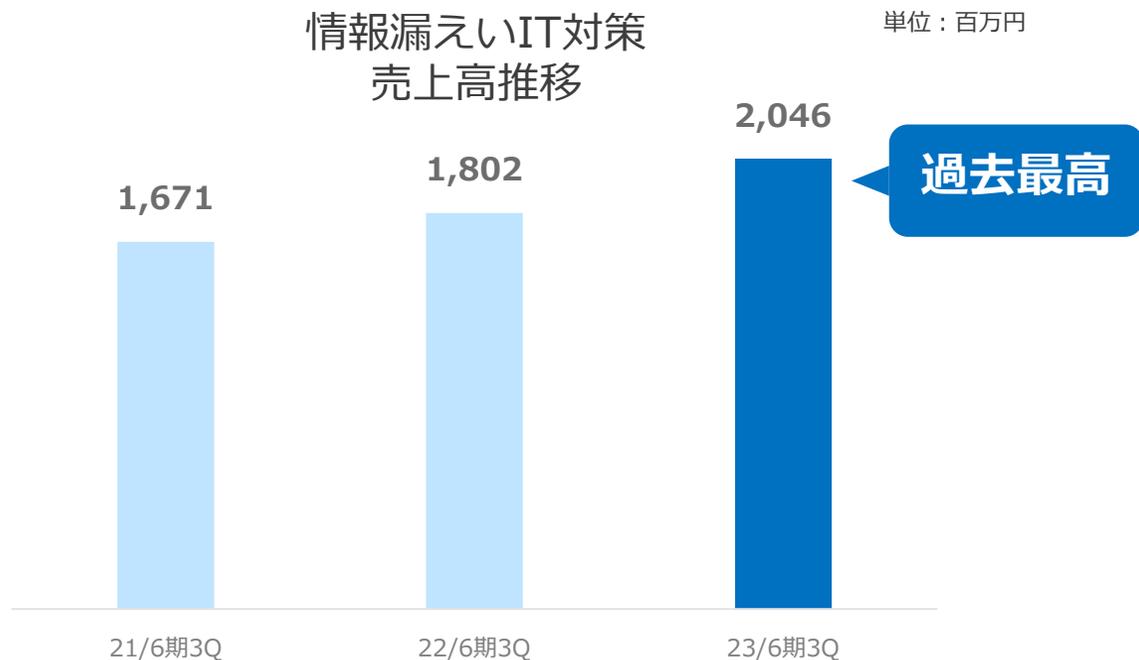
新年度を見据えたサービスのリリースにおいて、インフラのクラウド移行が顕著。これに係るWeb/ネットワーク診断とあわせて、クラウド設定診断の引き合いが多数。



SQAT® Security Report 2023年 春夏号

- セキュリティインシデント今昔
- PCI DSS v4.0で変わる脆弱性診断

**EDR※1やSIEM※2をはじめとした定常収益が引き続き堅調。
今後の需要にも対応すべく、24時間/365日の監視体制を増強。**



定常収益	デジタルフォレンジック/PFI売上
前年同期比 14.9%増	前年同期比 37.8%増

・ **マネージドセキュリティサービス**

24時間365日のセキュリティ監視サービスの定常売上が着実に増加。（同分野限定の定常収益は前年同期比 28%増）
また、標的型攻撃メール訓練サービスやセキュリティ機器の入替作業等、スポット売上も業績へ寄与。

・ **デジタルフォレンジック および PFI**

カード情報漏えいの専門機関「PFI(PCI Forensic Investigator)」としての引き合いが継続的に増加。
加えて、カード情報以外のサイバー攻撃による被害調査のデジタルフォレンジックは、コンサルティング部門や診断部門など、他部門と連携する案件が拡大。

※1 EDR : Endpoint Detection And Response、端末の挙動等を監視し、異常の発生を検知・対応する新たなセキュリティソリューション

※2 SIEM : Security Information and Event Management、セキュリティ機器などが出力するイベント情報を一元的に管理し、脅威となる事象を把握するテクノロジー

1. 定常収益モデルの月額売上高の増加による収益上積みを見込む
2. 脆弱性診断のサービスメニュー拡大（ランサム対策）による収益貢献
3. フォレンジックサービスの拡大とアップセル

単位：百万円

科目	2022年6月期 通期実績	2023年6月期 通期計画	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	5,216	5,800	+583	+11.2%
営業利益	509	580	+70	+14.0%
売上高営業利益率	9.8%	10.0%	+0.2p	
経常利益	497	571	+73	+14.8%
売上高経常利益率	9.5%	9.8%	+0.3p	
当期純利益	352	400	+47	+13.5%

2023年6月期第3四半期業績ハイライト

トピックス

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

ビジョン

便利で安全なネットワーク社会を創造する

価値

1. お客様の情報資産を守り成長を支援する
2. 顧客ニーズに真摯かつ迅速に対応する
3. 高度な専門知識とサービスを分かりやすく提供する
4. 進化する攻撃にサービスで対抗する

情報関連産業の振興に係る連携協力に関する協定締結（2023年3月10日発表）

産学官連携で秋田県におけるデジタル人材育成の強化・情報関連産業の振興および地域社会の活性化を目指す

- 2023年3月9日、秋田県、国立大学法人秋田大学、株式会社テクノス秋田、株式会社フォーラムエイトと共同で、「情報関連産業の振興に係る連携協力に関する協定書」を締結
- セキュリティ技術など保有する技術を用いて教育研究の企画・立案・実施を担当する

連携協力事項

1. XR・メタバース・情報セキュリティ等を主とした情報技術とデータサイエンス・AI等のデジタル技術を活用した教育研究の取組
2. 上記一に関連した実践学習の拠点としての活用
3. 秋田県の地域課題等の解決に向けた共同研究等の取組
4. デジタル人材育成やオープンデータの推進、情報関連産業の振興に資する産学官連携の取組
5. その他本協定の目的を達成するために必要な事項



BBSecが秋田で目指すもの

- 日本全国のお客様に脆弱性診断サービスを提供するホワイトハッカー拠点に
- 秋田におけるデジタル人材（情報セキュリティ分野）の育成（産学官金連携）



Gomez銀行サイトリライアビリティランキング (2023年4月26日発表)

Gomezサイトランキングは、金融・不動産・EC・IRサイトなど、30業界、4,600サイトをゴメス独自の評価基準で評価し、ランキング発表を行っており、多くの企業でサイト評価の指標とされています。今回、新たな指標によるサイト評価「サイトリライアビリティランキング」を発表しました。

順位	得点	会社名
1位	7.92	三井住友信託銀行
2位	7.86	西京銀行
3位	7.80	東北銀行
4位	7.68	青森銀行
5位	7.38	大東銀行
6位	7.26	U I 銀行
7位	7.26	沖縄銀行
8位	7.20	神奈川銀行
9位	7.20	香川銀行
10位	7.20	但馬銀行

SRE (Site Reliability Engineering)の考えのもと、パフォーマンスにセキュリティとプライバシーを評価指標に加え、「信頼性」を表す評価となっています。

評価カテゴリ	評価内容
サイトパフォーマンス	ウェブサイトの表示速度、稼働率、応答性、表示の安定性を評価するカテゴリです。安定的にサイトにアクセスでき、サイト上でユーザ体験を損なわずアクセスできているかを総合的に評価します。
セキュリティ	暗号化通信、アクセス制御、HTTPレスポンスヘッダなど、公開ホームページ上での基本的な対策状況を評価します。
プライバシー	プライバシーやcookieに関するポリシー、個人情報保護に関する認証、運営企業情報など、信頼感を表す取り組みを評価します。

自動車部品業界向け情報セキュリティ対策支援サービスを拡大（2023年5月10日発表）

自動車産業のサプライチェーンを構成するすべての企業に求められるセキュリティ対策を、ガイドラインのすべてのレベルに対し網羅的に支援



- 情報セキュリティ文書（ポリシー・規程）雛形提供サービス（Lv1/Lv2）
- 情報セキュリティ文書（ポリシー・規程）整備支援サービス（Lv1）
- 情報セキュリティ対策実行支援型サービス（Lv1）
BBSec Prime for Auto Parts Industry
- サイバーセキュリティガイドラインV2.0アドバイザリサービス（Lv1）

⇒自動車産業界に特化することで、「当社従来顧客とは異なる層へのアプローチ」を継続実施

TrendMicro認定MSP/CSPパートナーとして さらに高いレベルでクラウドセキュリティサービスを提供



2023年4月、以下の2つのカテゴリでTrendMicro認定パートナーを取得。

- Managed Service Provider（認定MSPパートナー）
- Cloud Service Provider/Integrator（認定CSPパートナー）

さらにBBSecのクラウド向けマネージドセキュリティサービスにTrendMicroのCloud One Workload Securityを追加。

お客様にさらに高いレベルのセキュリティサービスをご提供するとともに、新しい顧客の獲得を目指します。

取扱製品

Vision One/ XDR

Deep Security/Cloud One –Workload Security

TippingPoint

2023年6月期第3四半期業績ハイライト

トピックス

株式会社ブロードバンドセキュリティについて

会社名

株式会社ブロードバンドセキュリティ (略称：BBSec)
BroadBand Security, Inc.

本社所在地

東京都新宿区西新宿8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル4F
(〒160-0023)

URL

<https://www.bbsec.co.jp/>

設立

2000年11月30日

資本金

293百万円

決算期

6月

株式公開情報

市場：東京証券取引所 スタンダード市場
上場日：2018年9月26日
証券コード：4398

従業員数

222名 (2022年6月末現在)

代表者

代表取締役社長 滝澤 貴志
代表取締役副社長 森澤 正人

事業内容

1. セキュリティ監査・コンサルティングサービス
2. 脆弱性診断サービス
3. 情報漏えいIT対策サービス

事業所

国内：天王洲オフィス、大阪支店、名古屋支店
東北セキュリティ診断センター

海外：韓国支店

オペレーションセンター：1拠点 (東京都内)

2000 会社設立

国内ブロードバンド網の相互接続インフラを提供すべく会社を設立

2000年11月 会社設立（社名：(株)ブロードバンドエクステンジ）
2004年10月 合併によりネットワーク監視事業を追加

2005 セキュリティサービス開始

初のセキュリティサービス「セキュアメールASPサービス」を開始

2006年5月 (株)ブロードバンドセキュリティに社名変更
2008年5月 PCI DSSの認定審査機関「QSAC」認定取得

2009 セキュリティ専業へ

セキュリティ事業に特化、各種サービス開始

2009年1月 「デイリー脆弱性診断」を提供開始
2009年4月 セキュリティオペレーションセンター開設
2009年4月 「PCI DSS準拠支援」を提供開始

2012 グローバル展開開始

国内企業の海外展開支援をするために、初の海外支店オープン

2012年3月 韓国営業所（現韓国支店）設立
2013年3月 デジタルフォレンジック事業開始
2015年5月 「PCI DSS準拠支援」のグローバル対応を本格化

2016 統合サービス開始

サービス提供範囲をITのみから組織全体へと拡大

2016年5月 「PCI DSSオンサイト評価」を欧米に拡大
2017年5月 「インターネット分離」を提供開始

2018 株式公開

お客様の基幹に触れる事業者としての責任を果たすべく、株式公開

2018年9月 東京証券取引所JASDAQ市場への新規上場

2020 新たな社会ニーズへの対応

リモートワークなど新たな社会ニーズに求められるのセキュリティサービスを積極展開

2020年8月 「テレワーク環境 情報リスクアセスメント」を提供開始
2020年9月 「国際送金ネットワーク SWIFT 評価・コンサルティング」の提供を開始

2021 サービス領域拡大

PFI、CPSA登録によるサービス領域拡大とゴメス・コンサルティング事業の承継

2021年4月 カード情報漏えい事故調査機関 PFI登録
2021年5月 クレジットカード製造におけるセキュリティ評価機関 CPSA登録
2021年7月 モーニングスター株式会社よりゴメス・コンサルティング事業承継

2022 クラウドへの注力

資格者数の飛躍的増大、AWSパートナー認定

2022年4月 東京証券取引所の市場再編により「スタンダード市場」に移行
2022年5月 AWSパートナーネットワークセレクトティアサービスパートナー認定
2022年7月 「サイバー保険付帯の脆弱性診断サービス」の提供開始

見えない脅威から「守るべき情報資産」をさまざまな視点で防御

情報資産への脅威と当社のサービス

技術的対策

インターネット公開エリア

- ▶ 脆弱性診断
- ▶ UI/UX評価・開発・運用

クラウドエリア

- ▶ クラウドセキュリティ設定診断
- ▶ Managed Security Service for AWS

サーバエリア

- ▶ Managed Security Service
- ▶ SIEM運用/セキュリティログ解析

オフィス/テレワークエリア

- ▶ インターネット分離クラウド
- ▶ エンドポイントセキュリティ(EDR)運用

緊急対応

- ▶ 緊急対応サービス
- ▶ クレジットカード情報漏えい調査

守るべき情報資産

- ・ 財務情報
- ・ 顧客情報
- ・ 人事情報
- ・ 技術情報
- ・ ノウハウ etc.

組織的対策

セキュリティ評価/コンサルティング

- ▶ 情報セキュリティ・アドバイザー
- ▶ PCI DSS準拠支援
- ▶ CSIRT構築/運用支援
- ▶ インシデント対応訓練

フォレンジック/内部統制

- ▶ デジタルフォレンジック

人的対策

教育/情報提供

- ▶ 標的型攻撃メール訓練
- ▶ 情報セキュリティ研修
- ▶ 脆弱性情報提供

 **技術的対策** 情報資産を守るための対策を、技術的な観点からご支援

対策エリア	提供サービス	
 インターネット公開エリア	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 脆弱性診断 ▶ UI/UX評価・開発・運用 	<p>システムライフサイクルにおけるあらゆるフェーズとあらゆる対象範囲で診断を実施</p> <p>WEBサイトランキング・評価・総合分析、サイト構築・運用</p>
 クラウドエリア	<ul style="list-style-type: none"> ▶ クラウドセキュリティ設定診断 ▶ Managed Security Service for AWS 	<p>クラウドサービス別の業界標準ベンチマークを用いてセキュリティ推奨設定への適合度をチェック</p> <p>クラウドサービスの特性を考慮し、攻撃の検知・対応に加え、インシデントが発生する前の予防も支援</p>
 サーバエリア	<ul style="list-style-type: none"> ▶ Managed Security Service ▶ SIEM運用/セキュリティログ解析 	<p>24x365体制で監視・精査し予兆並びにインシデント発生時にお客様にアラートを発呼</p> <p>セキュリティログを当社セキュリティ技術者が監視/分析し、インシデント発生時にお客様にいち早くお知らせ</p>
 オフィス/テレワークエリア	<ul style="list-style-type: none"> ▶ インターネット分離クラウド ▶ エンドポイントセキュリティ(EDR)運用 	<p>お客様の外部接続環境を当社クラウドにお預かりし、セキュリティ監視やマルウェア検知、セキュリティビッグデータ解析</p> <p>組織の端末を24/365体制で監視。インシデント発生時には端末隔離等の初動対応を実施</p>
 緊急対応	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 緊急対応サービス ▶ クレジットカード情報漏えい調査 	<p>インシデント発生時に、お客様企業に出向き、事象の把握と初期対応、そして今後の対策についての方針を決定するための支援</p> <p>PCI SSCの基準に則った調査・報告を行い、お客様のインシデント対応を支援</p>

組織的対策 セキュリティ強化に向けた組織的な体制作りをご支援

対策エリア	提供サービス	
 セキュリティ評価/ コンサルティング	▶ 情報セキュリティ・アドバイザリ	情報セキュリティ強化に向けた組織的な体制づくりを、社内ルール/情報システム両面から支援
	▶ PCI DSS準拠支援	クレジットカード業界の国際的なセキュリティ基準 PCI DSS、PCI P2PE、PCI 3DS評価機関として高品質の訪問評価、準拠コンサルティングを実施
	▶ CSIRT構築/運用支援	お客様それぞれの企業文化・リソースに合ったCSIRTのプランニング/構築/運用を専門家の立場から支援
	▶ インシデント対応訓練	CSIRTなどのインシデント対応要員の対応力を高めるため、具体的なシナリオに従ってロールプレイング形式で訓練を実施
 フォレンジック/内部統制	▶ デジタルフォレンジック	法的根拠となるデータの抽出、報告書の作成等のデジタルフォレンジックに必要となるサービスを提供。また、重大インシデント発生時の初期対応から復旧まで支援

人的対策 社員一人一人のセキュリティに対する認識とスキルを向上させ、組織全体としてのリスク軽減をご支援

対策エリア	提供サービス	
 教育／情報提供	▶ 標的型攻撃メール訓練	擬似攻撃メールを配信し、実際に模擬体験をすることで、社員の方々のセキュリティ意識を高めるための教育
	▶ 情報セキュリティ研修	受講者が情報セキュリティに関する知識やスキル等を養い、組織のリスク軽減を実現させるプログラム
	▶ 脆弱性情報提供	世界中を駆けめぐる莫大な脆弱性情報の中からお客様システムに影響を及ぼす可能性のある脆弱性情報のみをフィルタリングして提供

便利で安全なネットワーク社会を創造する

セキュリティ対策の可視化から運用までをトータルに支援するセキュリティサービスプロバイダー

セキュリティ監査・コンサルティング

お客様システムの可視化/課題抽出/課題解決を目的とした、組織全体に対するセキュリティ支援サービス。IT・組織両面からセキュリティの盲点を発見し、実現可能な解決策を提示。

脆弱性診断

お客様システムに潜む脆弱性の有無を検証し、リスクを分析した上で改善案を提示するサービス。時々刻々と変化するセキュリティ事情に対応するために様々なニーズに応える各種診断メニューをラインナップ。

情報漏えいIT対策

慎重かつ堅実な継続的作業を求められるセキュリティ運用を、セキュリティのプロフェッショナルが24時間・365日体制でご支援。

現状を可視化



対策の導入と
24/365運用



当社が多くのお客様から選ばれる理由

豊富な実績



これまでに延べ49,500システム超
の脆弱性診断実績

(2022年12月現在)

高品質・技術対応力



国内最多規模の資格保有者の知識・
経験を核とした最先端の技術対応力

中立性・信頼性



最適な改善策を提示するために
欠かせないベンダーニュートラル性

ユーザーオリエンテッド



お客様個別のニーズやスピードに
お応えする柔軟な体制

セキュリティの資格保有者が多数在籍し、多角的にお客様の対策をご支援

PCI DSS
基準認定付与件数

678件

(2023年1月現在)

PCI DSS
基準認定付与企業数

150社

(2023年1月現在)

AWS認定資格
取得数

129名

(2023年4月現在)

PCI 関連資格取得者数
<QSA、CISSP等>

111件

(2023年1月現在)

SWIFT
評価企業数

30社

(2023年1月現在)



BBSec
BroadBand Security, Inc.

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社ブロードバンドセキュリティ
お問い合わせ ir@bbsec.co.jp
<https://www.bbsec.co.jp/ir/>

※本資料の社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。